

令和 7 年 2 月 5 日
高 齢 福 祉 部
高 齢 福 祉 課

世田谷区介護事業者経営改善支援事業の実施について

1 主旨

物価高騰や介護人材の不足等、社会状況の急激な変化による影響を受け、経営状況が厳しい中、生産性の向上や介護職員の処遇改善等につながる経営改善の意欲のある区内の介護事業者に対して、介護事業所の経営課題の分析や経営改善への伴走型支援を行う「世田谷区介護事業者経営改善支援事業」を令和 7 年度より実施し、介護事業者の経営の持続及び区民に必要な介護サービス提供の継続を図る。

2 事業内容

(1) 対象

- ①法人：区内に主な事務所がある介護事業者
- ②介護事業所の種別：主に訪問介護、通所介護、特別養護老人ホーム
- ③支援事業所数：10 事業所（募集のうえ、決定する）

(2) 支援内容

①経営状況の分析と経営改善策の立案

介護事業所の経営に関する資料確認やヒアリング、現地調査等を通して課題の分析を行い、課題の解決に向けた経営改善策を協議し、まとめる。

②経営改善策の実行支援

経営改善策が効果的に実行されるよう、介護事業所に対する助言や進捗確認、必要なサポート等の実行支援を行う。

(3) 横展開

各介護事業所の経営改善の取り組みや成果をまとめ、成功事例を横展開することで、経営改善支援を行った事業所だけでなく、区内の介護事業所全体への効果の波及を図る。

3 所要経費

委託料：3, 500 万円

経営改善業務の支援業務を官公庁との連携実績や自社の介護事業所の運営ノウハウを持ち、本事業に活用できる企業に委託する。

4 区内の介護事業所の経営状況

緊急安定経営事業者支援給付金の申請（令和 6 年 1 1 月）に合わせて実施した経営状況に関するアンケートの結果（速報）では、現在の経営状況は前年と比較して悪くなったと回答した事業所が 4 割半ばとなり、今後も悪化する・事業継続が難しくなると回答した事業所が 5 割を超えていた。今後、アンケート結果の分析を進め、本事業の参考とする。（参考資料：緊急安定経営事業者支援給付金 アンケート調査結果 速報版）

5 今後のスケジュール（予定）

令和7年2月6日	業務委託事業者の公募開始（プロポーザル）
5月上旬	説明会、支援対象事業所の募集開始
5月下旬	支援事業所の決定
6月～3月	介護事業所への経営改善支援
令和8年2月	経営改善実施結果（速報）
4月以降	区内介護事業所への成功事例の横展開

参考:事業のイメージ図

世田谷区介護事業者経営改善支援事業



目的(現状の課題、事業化のねらいなど)

社会情勢の変化による影響を受け、経営状況が厳しい中、生産性の向上や介護職員の処遇改善等につながる経営改善の意欲のある区内の介護事業者に対して、介護事業所の経営課題の分析や経営改善への伴走型支援を行う「世田谷区介護事業者経営改善支援事業」を令和7年度の新規事業として実施する。

事業内容

伴走型の経営改善への支援

募集

①経営診断

②改善提案

③実行支援

成功事例の 横展開

①経営診断

介護事業所の経営に関する資料確認やヒアリング、現地調査等を通して課題の分析を行う。

②改善提案

経営診断で抽出された課題の解決に向けた改善策を提案し、介護事業者と共に具体的な取り組みをまとめる。

③実行支援

介護事業所による経営改善策が効果的に実行されるよう、進捗確認や助言などの必要なサポートを行う。

※業務の一部を官公庁との連携実績や自社の介護事業所の運営ノウハウを持ち、本事業に活用できる企業に委託する（プロポーザル）。

事業の効果

伴走型の支援を行うことで、多忙な介護事業所の実情に応じた経営改善を図ることができる。
また、経営改善の結果を総括し、成功事例の横展開を行うことで、他の介護事業所への波及効果を狙う。

緊急安定経営事業者支援給付金 アンケート調査結果（速報版）

※結果は速報版です（12月末時点）

【調査概要】

目的	区内の介護事業所の経営状況の実態を把握するため、緊急安定経営事業者支援給付金の申請と合わせてアンケートを実施した。
回答方法	法人が運営する介護サービスの種別ごとに設問10問に回答する（3つまでの複数回答有） 例）A法人が訪問介護3か所、通所介護2か所、居宅介護支援1か所 運営 →3つのサービス種別ごとに回答（1法人あたり 単一回答 n=3、複数回答 最大n=9）
回答率等	回答率 74.0% 申請事業者数416法人から308件の回答があった。

集計結果

n= 488

問1	現在の事業所の経営状況は、前年と比較していかがですか。	回答数	回答率
1	良くなった	82	17%
2	変化なし	186	38%
3	悪くなった	220	45%

n= 488

問2	現在の事業所の資金繰りの状況は、前年と比較していかがですか。	回答数	回答率
1	良くなった	37	8%
2	変化なし	243	50%
3	悪くなった	208	43%

n= 490

問3	今後の事業所の経営状況は、どのように推移すると思いますか。	回答数	回答率
1	良くなると思う	87	18%
2	変わらないと思う	146	30%
3	悪化すると思う	209	43%
4	事業継続が難しくなる	48	10%

n= 490

問4	事業所における人材の確保状況を教えてください。	回答数	回答率
1	充足している	32	7%
2	やや充足している	88	18%
3	やや不足している	184	38%
4	不足している	186	38%

n= 1,252

問 5	事業所の経営上の課題又は問題点は、どのような内容ですか。※最大 3 個選択可	回答数	回答率
1	人材不足	384	31%
2	コスト上昇による経営のひっ迫	339	27%
3	設備老朽化	88	7%
4	事務処理（紙面）の複雑化	199	16%
5	事務処理（情報機器）の複雑化	143	11%
6	事業承継（経営者の高齢化含む）	62	5%
7	その他	37	3%

n= 1,087

問 6	事業所において人材確保が困難である（離職含む）理由と考えられるものを教えてください。※最大 3 個選択可	回答数	回答率
1	収入の少なさ	387	36%
2	職場の人間関係	111	10%
3	結婚・出産などライフスタイルの変化	85	8%
4	介護職のイメージ	246	23%
5	労働条件のミスマッチ	189	17%
6	その他	69	6%

n= 1,109

問 7	給付金の使途を教えてください。※最大 3 個選択可	回答数	回答率
1	人材確保に関する経費	272	25%
2	人件費の支払い	272	25%
3	固定費（人件費以外の家賃等）の支払い	173	16%
4	設備投資（事業所・施設の改修、OA機器の更新・導入等）	199	18%
5	不足する物品等の購入	162	15%
6	その他	31	3%

n= 490

問 8	給付金は事業の継続に役立ちますか。	回答数	回答率
1	大いに役に立つ	403	82%
2	ある程度役立つ	79	16%
3	あまり役に立たない	5	1%
4	役に立たない	3	1%

n= 1,261

問 9	今後、どのような支援が必要だと考えますか。※最大 3 個選択可	回答数	回答率
1	経営全般に対する給付金の支給	337	27%
2	物価高騰に対する給付金の支給	365	29%
3	人件費の上乗せに関する補助金の支給	334	26%
4	職員のキャリア形成に関する給付金の支給	88	7%
5	DX推進等の業務改善のための補助金	66	5%
6	処遇改善加算確保のための相談	12	1%
7	経営改善のための相談	11	1%
8	キャリアアップに関する研修の充実	28	2%
9	その他	20	2%

問 1 0	最後に、ご意見・ご要望などお聞かせください。（自由意見）	回答数	回答率
-------	------------------------------	-----	-----

※集計中